

広報

にしあいつ

No. 686

12

2015
(平成27年)



火の用心

掛け声響かせ

元気に啓発

防火パレード

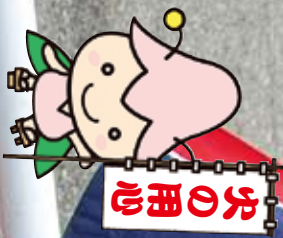
P 2～3 特集 快適な冬の生活に向けて

P 4～7 ふるさとまつりフットギョーラリー

P 8 越後街道を生かす

P 9 「守られる」から「守る」へ

消防団員募集中



快適な冬の生活に向けて

最近朝晩めっきり寒くなり、冬の足音が近づいてきました。今年もいよいよ本格的な雪の季節がやってきます。

町では、除雪体制を整え、生活道路の円滑な交通を確保し、皆さんの冬の暮らしを守るため今年も全力を傾けていきます。

誰もが快適な生活を送るためには、皆さん一人一人の協力が必要です。隣近所や自治区で協力し、快適な冬の生活を共に築いていきましょう。



本年度の除雪計画では、車道は町道と除雪を受託した県道を合わせ271路線、総延長168.7キロメートルを除雪します。昨年と比べて1路線、3.3キロメートル減少していますが、必ず除雪作業を行う交通確保区間の延長は昨年と同じ158.7キロメートルとなっています(3ページ表参照)。町では、道路の老朽化に伴う改良工事や道路拡幅工事などで交通の確保に取り組み、住み良いまちづくりを推進しています。これに伴い、冬期間の除雪延長は年々増加傾向にあります。皆さんの生活に影響が出ないよう路線除雪の目標時間を設定して作業にあたっています。

冬期間の交通確保に向け、ブルドーザー

1台、タイヤドーザー37台、ロータリー除雪車2台、歩道用ロータリー除雪車1台を配備し、原則、路上の積雪深が15センチメートル以上となった場合はすぐに出動できるように体制を整えています。

快適な冬の生活に向けて万全を期していますが、円滑な除雪を行うためには、皆さんの協力が何よりも大切です。スムーズな除排雪を行うため、また、雪に強いまちづくりを推進するため、次のことにご協力をお願いします。

路上駐車は絶対に しない

1台でも路上駐車があると、そこから先





の除雪作業が行えない場合があります。また、作業の障害となるだけでなく、その車を破損させてしまうことにもなりかねません。特に、夜間の路上駐車は絶対しないようお願いいたします。

障 害物には赤い目印を付ける

除雪作業により破損する恐れのある構造物は、赤い布切れなどで目立つよう表示してください。

騒 音はご容赦ください

通勤や通学に支障が出ないよう、早朝に作業を実施しています。また、降雪状況によっては深夜に出勤する場合があります。除雪車両の騒音はご容赦ください。

屋 根からの雪は自分で片付ける

屋根からの雪崩や雪下ろしで道路に雪が落ちる場合は、通行の支障とならないよう各家庭での処理にご協力をお願いします。

田 畑に砂利などが入ることがあります

細心の注意を払い作業にあたっていますが、雪に付着した砂利などが田畑に入ることがあります。ご了承ください。

スノーボールの保身に ご協力ください

除雪作業を安全に行うため、道路の路肩にスノーボールを立てています。除雪の道

しるべですので、倒したりしないよう、また、倒れている場合は立て直しにご協力をお願いします。

除 雪車両には絶対近づかない

除雪車両に近づくこと、思わぬ事故に巻き込まれる恐れがあります。大変危険ですので、近づかないようにしましょう。

除雪に関して不明な点は、自治区長を通じて建設水道課・管理係に問い合わせください。

建設水道課・管理係 ☎45-4530

▼ 除雪計画における路線数と総延長

年度	路線数	総延長	交通確保 区間延長	余力除雪 区間延長
27	271路線	168.7km	158.7km	10.0km
26	272路線	172.0km	158.7km	13.3km
25	266路線	169.3km	159.3km	10.0km
24	244路線	164.0km	153.5km	10.5km
23	235路線	165.2km	154.2km	11.0km
22	233路線	164.9km	153.9km	11.0km





届け! 日本記録

第18回桐ゲタ投げ全国大会

まちの 魅力発信



第30回西会津の文化と産業祭
西会津ふるさとまつり

第

30回の節目となった今回の西会津ふるさとまつりは、紅葉が見ごろを迎えた10月31日、11月1日にさゆり公園で開かれ、町の食、農林産物、特産品、健康づくりなど、「まちの魅力」を、多彩なイベントを通して全国に発信しました。

オープニングセレモニーでは、町ふるさと振興推進委員会委員長の伊藤町長が「復興を加速させるためにも、福島以西の玄関口といわれる本町でこのようなイベントを開催し、福島を盛り上げたいと考えています。今日明日と最後まで楽しんでください」とあいさつし、来場者を歓迎しました。続いて鏡開きが行われ、ふるさとまつりが開幕しました。

また、今回は、宮古島市との友好都市協定が今年で10周年を迎えたことを祝し記念セレモニーが行われ、宮古島市から西会津町へ宮古上布じょうふの額が、西会津町から宮古島市へ会津塗の角盆が贈られました(5ページ写真)。

初日は、前日から降り続いた雨の影響で「マラソン世界記録に挑戦!」が中止となっていました。が、普天間あまのかおりシヨウや、アニメソング界の帝王・水木一郎さんのラジオ番組公開収録「ヒーローは永遠に! in西会津」



ヒーローは永遠に！in西会津



オープニングセレモニー



手裏剣戦隊ニンニンジャーショー



グリーンステージ



第2回創作かかしコンテスト



普天間かおりショー

子どもたちに大人気の手裏剣戦隊ニンニンジャーショーなどが実施され、会場には多くのファンが詰め掛けました。

二日目には、健康がいちばん・紅葉ウオーク、福島のプロ野球球団福島ホープスによる野球教室とトークショー、ご当地ヒーロー丞神デナーショー、今年15周年を迎えたさゆりストリートジャズオーケストラによるさゆりジャズフェスティバル、そして恒例の桐ゲタ投げ全国大会、最後は西会津一うまい米が当たる西会津ふるさと大抽選会など多彩なイベントが実施され、来場者の皆さんは、見て、聞いて、参加して楽しんでいました。

また、両日開催されたこゆりちゃんを探すスタンプラリーこゆりちゃんを探せ！やヘリコプター遊覧飛行、創作かかしコンテスト、体育館での作品展示のほか、会場には町内商店のスイーツを一堂に会した西会津まるごとマルシェ、ミネラル野菜をはじめとした町内産の農林産物、新そば、川魚の塩焼、福島牛の焼き肉、牛串などが味わえる農家レストランに加え、出店コーナーのブースやうまいもんまつりの移動販売車が並び、秋の味覚を求める来場者でにぎわいました。



ヘリコプター遊覧飛行



健康がいちばん・紅葉ウォーク



あつまっ会



体育館展示など



まちの魅力がぎっしり詰まった2日間



西高祭PR 仮装行列



福島ホープス野球教室&トークショー

表彰受賞者

①は大賞・優勝、②は金賞・準優勝
勝「敬称略」

【農業まつり部門】

▼西会津一うまい米コンテスト

Ⅱ①長谷川護(コシヒカリ・縄沢)、

②川瀬典宏(同・萱本)、江川誠作

(同・牧)、長谷沼勉(同・高目)、

武藤正喜(同・柴崎)▼園芸品目

の部Ⅱ①高橋千代子(プロッコ

リ・滑沢)、②齋藤節子(みし

らざ柿・萱本)、佐藤アサ子(落

花生・下小島)▼菌茸類の部Ⅱ①

高久一志(生シイタケ・柴崎)、

②杉原辰徳(生シイタケ・松尾)

▼農林産物加工品の部Ⅱ①齋藤

えりか(高きび粉の柿タルト・芝

草)、②目黒満理子(パリパリ野

菜ふりかけ・牛尾)▼農林業振興

の部Ⅱ①矢部勝義(ミネラルト

マト栽培・真ヶ沢)

【高齢者・障がい者作品展】

▼ものづくりの部Ⅱ①伊藤ひろ

子(クラフトかご・屋敷)、②長

谷川タイ子(のれん・松尾)▼芸

術文化の部Ⅱ①安部美江子(西

洋陶芸「花瓶」・1町内)、②尾崎

サト(日本陶芸「茶碗」・さゆりが

丘)▼介護サービス利用者の部

Ⅱ①しなのきホーム西会津(風

鈴・下小屋)、②ミニデイサービ

ス(みんなで切り絵・西平)

【桐ヶ谷投げ全国大会】

▼小学生男子の部Ⅱ①塚原蒼(5



西会津まるごとマルシェ



農家レストラン



西会津ふるさと大抽選会



防災・救急コーナー



にじあいづ観光クルー



こゆりちゃんを探せ



さゆりジャズフェスティバル



若者まちづくりプロジェクト・国際芸術村コーナー



チビッココーナー (ミニSL)



丞神デナーショー



民俗芸能と民謡の集い

▼西会津町長賞ⅡJA会津いいで女性部西会津支部(かほちゃの嫁入り・原町)▼西会津町教育委員会教育長賞Ⅱ出ヶ原若妻会(夢をかなえた〜い(仮)・出ヶ原)
 ▼西会津町商工会長賞Ⅱ斎藤ノイ(伊達政宗公・上小島)▼会津いいで農業協同組合長賞Ⅱ片岡元次(明日天気になあれ・塩)▼西会津町森林組合長賞Ⅱ西会津町農林振興課(緑の少年団活動・下小屋)▼にしあいづ観光交流協会会長賞Ⅱ橋屋そばまつり実行委員会(1・種蒔き「実をいっばい付けろよ」、2・ソバ刈り「いっばいになったなあ」、3・こねる「麺恋なあ、麺恋なあ」、4・切る「これはうめいぞー」、5・食べる「そばまつりにいらっしやい」・橋屋)▼子どもかかし大賞Ⅱ齋藤誠也・未央(ロボット兵・1町内)

【創作かかしコンテスト】
 ① 60cm・上野尻、② 渡部結斗(4m 28cm・阿賀町)▼小学生女子の部Ⅱ① 本名円佳(2m 5cm・三島町)、② 薄上葉月(1m 94cm・3町内)▼少年男子の部Ⅱ① 齋藤優翔(4m 47cm・中野)、② 物江竜平(4m 21cm・下小屋)▼女子の部Ⅱ① 薄上美樹子(3m 96cm・3町内)、② 小林和代(3m 75cm・会津若松市)▼一般男子の部Ⅱ① 高橋淳史(10m 48cm・いわき市)、② 星光輔(8m 75cm・4町内)

越後街道 を生かす

地域資源を活用してまちの魅力を発信



越

後街道は現在の会津若松市と新発田市を結ぶ全長約92キロメートルの街道で、古くから文化交流や産物の運搬などの重要な役割を担い、多くの人が往来するにぎやかな道でした。

西会津町は、この越後街道において野沢、上野尻、下野尻、白坂、宝川などが宿場町として栄えました。特に野澤宿は、津川宿、坂下宿に次いで3番目に大きい宿場であったといわれ、新発田藩、村上藩などの大名行列が宿泊していました。

また、いくつかある会津と越後をつなぐルートの中で最も歩行しやすく最短であるのがこの越後街道で、必ず通る野澤宿は、越後の海産物や塩などの物産を会津に搬入するために非常に重要な場所だったともいわれています。

に

しあいづ観光交流協会では、この越後街道や野澤宿の歴史などを活用し、観光振興につなげようと取り組んでいます。

10月24日から25日の2日間にかけて、町やふくしまけん街道交流会などと共に「街道交流会」を開催し、1日目は講演会と街道ウォーク、2日目は野澤宿探訪を行いました。

24日の講演会では、にしあいづ観光交流協会副会長で郷土史研究家の田崎敬修さんが「越後街道と野澤宿」、在京西会津会会員でイザベラ・バード研究家の渡部耕司さんが「イザベラ・バードと車峠」と題し、越後街道や野澤宿の歴史を熱く語りました。

昼食後の越後街道ウォークでは、下野尻の根柢神社から越後街道の難所といわれた車峠を目指し、実際に歩きました。参加者の皆さんは、額に汗をにじませながら、いにしへの街道に思いをはせていました。

夜の交流会には伊藤町長も出席し、全国から訪れた参加者の皆さんと街道・歴史談義に花を咲かせました。

翌25日の野澤宿探訪では、代官清水や研幾堂跡など、野澤宿の史跡12カ所を巡り、それぞれの場所で田崎敬修さんが由来や成り立ちなどを解説しました。参加者の皆さんは、かつての野澤宿の姿を思い浮かべ、解説に聞き入っていました。

今回の街道交流会には、当初予定していた定員を大幅に上回る80人の街道・歴史ファンが参加し、交流を深めました。

講演する渡部耕司さん



街道ウォーク(左)と野澤宿探訪(右)で史跡を解説する田崎敬修さんと聞き入る参加者



「守られる」から「守る」へ 消防団員募集中

地震や大雨による自然災害、各地で頻発する火災など、消防が出勤しなければならない事態は数多くあり、その活動に対する地域の期待はますます高まっています。

こうした中、地域の消防活動の一翼を担う消防団の役割は非常に重要です。しかし、社会状況の変化に伴い、

消防団体制の維持は難しくなりつつあります。

町では、平成21年度から消防支援隊を導入するなど、有事に備えた体制づくりを進めていますが、本町の消防団員の平均年齢は年々高くなっています。これからの地域を守っていくため、今、若い力が必要です。



消防団員とは

消防団は、地域に住む皆さんで構成される市町村の消防機関です。消防本部や消防署に勤める消防職員が常勤の地方公務員であるのに対し、消防団員は普段それぞれの職業をもちながら「自分たちの地域は自分たちで守る」という精神に基づき、災害発生時には自宅や職場から出勤する人たちをいい、その身分は非常勤特別職の地方公務員です。極めてボランティアに近い活動ですが、地域にとって必要不可欠な存在です。

実際の災害現場では、消防職員と消防団員が互いに協力しながら消防活動にあたります。



西会津町消防団

町の消防団は、団本部と5つの分団で編成し、野沢、尾野本、群岡、新郷、奥川の地区別に第1分団から第5分団を配置しています。団本部は団長、副団長、訓練本部長、庶務本部長、教養本部長で構成し、各分団は分団長、副分団長、訓練部長、庶務部長、教養部長、部長、班長、団員で構成されています。

また、各分団は柔軟で素早い消火活動ができるように、さら



消防団員の主な活動

いくつかの班に分かれて活動しています。
町の消防団員数は平成27年10月1日現在423人です。

消防団員は、非常時の災害出勤のほか、日頃からの火災予防啓発やパトロール、年始めの消防出初め式、日頃の訓練の成果を披露する春と秋の消防検閲、防災訓練、消防操法大会への出場など地域を守るためにさまざまな活動をしています。

消防団の活動は、地域を守ること以外にも、地域とのつながりを持つ意味で重要な役割を果たしています。

団員の職業や年齢はさまざまです。消防団に加入することで、普段あまり接する機会のない人とのつながりを持つことができ、また、消防という1つの目標に向かって共に活動することで絆を深めることができます。



消防団員になるには

消防団に加入したい場合は、近くの消防団員や町民税務課までお気軽に相談ください。

問い合わせ先

町民税務課 ☎ 45-2215

国道49号の円滑な交通確保に向けて

11月4日、「会津防災」事業の用地幅杭設置式が縄沢地内で行われました。この事業は、国道49号の冬期間における交通障害の解消や、災害に強い道路にすることを目的に国土交通省が実施するもので、西会津町縄沢地区から藤トンネル手前までの間をトンネル化し、新たな道路を整備する計画になっています。式で伊藤町長は「国道49号は私たちの生活に欠かせない道路で、これが冬期間や災害時の安心・安全のため整備されることは大変心強く思っています。事業の早期完了を期待します」と祝辞を述べ、その後、用地幅杭の打ち込みを行いました(写真)。



販路拡大目指し 西会津の加工品をPR

町の農林産物を使った加工品をPRする「商談会INにしあいづ」が11月6日、さゆり公園管理棟で開かれました。昨年開かれた県主催の「食の商談会フードフェア」への参加をきっかけに数件の商談がまとまったことから、今回、さらなる販路拡大を目指し、にしあいづ農林産物加工ネットワークが単独で商談会を開催しました。参加した加工品づくりに取り組む町内9団体の皆さんは、町外から訪れた約10社の販売担当者を相手にミネラル野菜や菌床シイタケ・キクラゲ、コメ、山菜などを使用した加工品を売り込み、魅力をPRしました。

152人が心をついに 西会津中で光桐祭開催

今年の光桐祭は、11月3日、「百花繚乱～咲き渡れ！152のつぼみ～」をテーマに開催されました。実行委員長の板垣真世さんの開会宣言の後、学年・学級ごとに総合発表や合唱コンクールが行われ、最後には光桐劇(写真)が披露されました。生徒の皆さんは、互いに協力し合い練習してきた成果を堂々と発表していました。会場にはPTAの皆さんの協力による食堂が設けられたほか、手作りストラップの販売や文化部の皆さんによるお茶会も開かれ、多くの来場者でにぎわいました。152人の生徒の皆さんが心をついにし、光桐祭を成功に導きました。



秋の味覚を堪能 各地区でそばまつり

秋の深まりとともにソバの収穫期を迎え、町内各地区でそばまつりが開催されました。町森林組合と萱本薬師そばが出店し、西会津の美味しいそばを町内外にPRした10月31日、11月1日の西会津ふるさとまつりを皮切りに、11月3日には奥川地区で「第7回奥川新そばまつり」が、8日には橋屋地区で「第9回橋屋そばまつり」が、22日には安座地区で「安座おとめゆりの里・新そばまつり」が開催されました。それぞれの会場には新そばを求める多くの来場者が詰め掛け、打ちたての新そばに舌鼓を打っていました。[写真=11月8日に開催された第9回橋屋そばまつりの様子]

健康づくりは・朝が・いちばん

運動を継続するコツ

本年度からスタートした健康増進計画では、「健康づくりは朝がいちばん」をスローガンに、朝の時間帯を利用したウォーキングや散歩など、運動の習慣化を推進しています。今月号では、なかなか続けられない運動を「続けるコツ」を紹介합니다。

コツ1 目標を持つ

「体重を3カ月で3kg減らす」「週2回は軽く汗ばむ程度の運動をする」など、具体的な目標を持ちましょう。目標を持つことで気持ちがポジティブになり、日々の生活が充実します。

動の効果を共有することができ
ます。

コツ3 普段できる運動

体を動かすチャンスは、日常生活の中にたくさんあります。回覧板を置きに行くついでにウォーキングするなど、1回10分を目安に続けてみましょう。

コツ2 仲間と一緒に

仲間と一緒に運動することで、一人よりも楽しく、飽きずに続けることができます。また、運

コツ4 飽きない工夫

時には運動する時間や場所を変えたり、内容に変化を持たせたりすることも大切です。同じウォーキングでも、時間やコースを変えることで、新しい発見があるかもしれません。

自分でプログラムを作ることが苦手な場合は、町で開催している各種講座やクラブなどに参加してみましょ。



西会津診療所
坂田敏夫 医師

健康維持のための運動は、
気楽にできるものが重要
長続きさせることが重要

適度な運動は、高血圧や糖尿病などの生活習慣病を予防・改善することが分かっています。しかし、頭では分かっているけれど、長続きせず挫折してしまうことはよくあることです。始めるのは簡単でも継続することはなかなか難しいですね。

維持することが必要です。

診療所で皆さんの診察をしていても、「若い頃に着られていた衣服が再び着られるようになった」「体重が何kg減って体が軽くなった」「便通が良くなった」など、何らかの実感でできる成果がないと、新たに始めた行動は続けられにくいように感じます。

小さい頃は、鉄棒や跳び箱、ボール競技など、親や学校の先生に教わりながら少しずつ上手になり、もっと上手になりたいと熱中した経験を多くの皆さんが持っていると思います。しかし、大人になるとその頃のように導いてくれる人はなかなかいません。友だちと一緒に始めてみるなど工夫しながら自分でもチベーションを高め、自分のことをいわせてもらえば、高校卒業後は運動不足状態が続き、60kg前後だった体重が平成10年ごろのピーク時には65kgくらいにまで増加し、検診で血糖高値などの異常がみられるようになります。もともと運動は好きな方でしたので、「何か始めよう」と思い、子どもたちの関心にかこつけて犬を飼って朝の散歩を始めました。以来15年余りが過ぎ、相棒は他界してしまいました。愛犬の次は末娘と一緒に奥川マラソンの親子マラソンなどでモチベーションを保ちつつ、娘が成長してか

らは独力でジョギング習慣を続けています。今でこそ習慣となりましたが、習慣化するまでには誰かの助けが重要であると実感しています。

健康維持のための運動は、苦しい思いをする必要はありません。気楽にできるものを長続きさせることが重要だといわれています。今健康だからといって今の生活習慣が健康的だとは限りません。不健康な習慣が病気になって現れるまでには、数年から十数年、時には数十年の時間がかかります。病気が顕在化してから生活習慣を改めるより、検診で異常を指摘された時点で、理想をいえば指摘される前に不健康習慣を改めることが大切です。

運動が得意な人はもちろん、運動が苦手という人でも、何かきっかけを見つけ、良い健康習慣を新たに加えることに挑戦してみたいかがでしょうか。意思が身体を動かし、行動が習慣をつくり、習慣が精神を鍛える、そんな好循環が期待できると思います。たとえばスポーツでなくても、唄い、踊り、楽器の演奏など、同様に効果があると私は考えています。

餃子の皮で作る リンゴの お手軽 一口パイ

29

材料 (4人分)

リンゴ	小1個
砂糖	大きじ1
はちみつ	大きじ1
レモン汁	少々
餃子の皮(大)	24枚

作り方

- ①リンゴは皮をむいて芯を取り除き、いちよう切りにして鍋に入れる。
 - ②鍋に砂糖、はちみつ、レモン汁を入れて中火で煮詰める。ときどき木べらで優しく混ぜ、リンゴが軟らかくなったら火を止めて冷ます。
 - ③餃子の皮を2枚用意し、1枚の上に乗っておいしたリンゴをのせ、もう一枚を重ねる。
 - ④餃子の皮のふちをフォークの先で強く押し付け、しっかりと貼り合わせる。
 - ⑤180度に予熱したオーブンで10〜15分焼く。
- *フライパンに少量のバターを入れて焼いてもおいしいですよ



チャレンジ!!

シリーズ

食育

●親子で一緒に料理を作ろう

料理の楽しさを

子どもと一緒に感じる



お手伝いで「食」への好奇心を刺激

食材の色や形、調理中の匂いや音などを五感で感じられるお手伝いは、子どもたちの食への関心を高め、食べる喜びや意欲を向上させます。「自分で作る」ことでいつもよりたくさん食べることができたり、苦手なものでも食が進んだりします。

親子での料理は子どもと充実した時間を過ごすことができます。休日、手軽にできるおやつ作りなどは、普段なかなか時間が取れない働くパパ・ママにもおすすめです。また、お手伝いをするうちに、子どもが1人でできることも増えていきます。

幼い頃から料理の魅力を感じることは、とっても良い食育になるね!



子

どもにとって「食べる」とは、とても大切な意味を持っています。丈夫な体をつくることはもちろん、大好きな人と食べたり作ったりすることで、「食」への興味や関心が高まります。また、正しい食習慣や礼儀・作法を身に付け、生涯にわたって健康でいきいきとした生活を送るための基本を育む大切な意味を持ちます。

子どもと一緒に食べること、作ることは、食の楽しさを伝える大切な食育です。

親子で作る料理のポイント

- 1 うまくいかななくて当然
最初は、こぼしたり、ちらかしたり、うまくいかななくて当然です。子どものやる気を大切に、時間や心に余裕を持ってお手伝いをしてもらいましょう。
- 2 体験によって興味がわく
皮をむいたり、触ったり、鍋に入れたり、混ぜたりするうちに、食材の名前や色、形などを自然に覚え、「食べたい」という気持ちが生まれます。
- 3 危険を学ぶ
火は熱い! 包丁は切れる! など、「危ない」ということを教える機会になります。
- 4 子ども用の道具を準備する
子ども用の包丁や踏み台などを準備すると調理しやすくなります。また、エプロンを準備すると雰囲気が出ますね。



健闘

走りつないだ95・1km 白河・福島間を力走

今年で27回目を迎えた市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会「ふくしま駅伝」は11月15日に開催されました。西会津町チームの結果は総合48位でしたが、中高生選手が区間30位台前半の記録で力走するなど将来に期待が持てる記録を残しました。

第27回ふくしま駅伝には、オープン参加の市町村混成チーム「希望ふくしま」を含め、県内59市町村から53チームが参加し、白河市のしらかわカタルルススポーツパーク陸上競技場から福島市の県庁前までの16区間95・1キロを駆け抜けました。

町チームは、今年の大会に向けて4月から毎週日曜日の練習を開始しました。8月下旬からは、平日の夜間にも週2回の練習を行い大会に備えました。

大会前日の11月14日、白河市中心体育館で開会式が開催されました。大田沙莉奈選手がプラカード、主将の長谷川陸選手が町旗を持ち、代表の7人が元気に入場行進しました。たすきは、大田沙莉奈選手が代表で内堀知事から受け取りました。

大会当日は、小雨がぱらつくあいにくの天気となりましたが、

選手の間は日頃の練習の成果を発揮し、力強く白河・福島間を疾走しました。

全16区間中13人が中高生と若い選手が主力の町チームは、5区を終えた時点で総合41位とかなかの滑り出しでしたが、中盤以降は40位台後半の順位で推移し、最終的には48位でゴールしました。

昨年より2つ順位を下げたものの、7区齋藤溪選手が区間30位、2区山口圭太選手が31位、5区伊藤亜久里選手が33位、3区長谷川海選手、10区佐藤茂哉選手、14区五十嵐俊平選手が35位と若い選手が活躍し、将来に期待が持てる結果となりました。

今大会には、町実行委員会主催のツアーなどで町民の皆さんが応援に駆け付け、選手に熱い声援を送りました。



▲ アンカー平野大夢選手



▲ 最長区間10区佐藤茂哉選手



▲ 5区伊藤亜久里選手



▲ 2区山口圭太選手

チームメンバー紹介 [敬称略]

- 1区 大田沙莉奈 (西会津中3年・縄沢)
 - 2区 山口 圭太 (学法石川高3年・上小島)
 - 3区 長谷川 海 (西会津中2年・さゆりが丘)
 - 4区 伊藤 峻 (喜多方高2年・塩)
 - 5区 伊藤亜久里 (西会津中2年・牧)
 - 6区 薄上 南平 (株)日本テックシード・上小島)
 - 7区 齋藤 溪 (西会津中3年・堀越)
 - 8区 齋藤 竜磨 (西会津中3年・堀越)
 - 9区 渡部 美来 (西会津中3年・黒沢)
 - 10区 佐藤 茂哉 (米沢中央高2年・芝草)
 - 11区 佐藤みなみ (西会津中3年・芝草)
 - 12区 渡部 貴之 (自衛隊多賀城・上小島)
 - 13区 渡部 和之 (喜多方消防署・上小島)
 - 14区 五十嵐俊平 (西会津中3年・西林東)
 - 15区 清野 里都 (西会津中2年・西原)
 - 16区 平野 大夢 (喜多方桐桜高2年・1町内)
- 監督 鈴木 洋 (軽沢)
コーチ 佐藤 正光 (下小島)
コーチ 雅楽川隼人 (宝川)



町民バトンタッチ

わたなべ しんいち
渡部 進市 さん [堀越]

いがらし ともひこ
五十嵐 智彦さん (11月号) からメッセージ
いつもお世話になっています。また、一杯やりましょう。

あなたの趣味は？
旅行、釣り、スポーツ

特技は？
スキー

熱中していることは？
娘の部活動の応援

最近感動したことは？
日本が体操世界選手権で
金メダルに輝いたこと

自分を一言で表現すると？
典型的なA型

あなたのモットーは？
何事もしっかり行う

これからやってみたいことは？
四国八十八カ所巡り。歩いて
巡ってみたい

次の方を紹介してください
N・Uさん (8町内)

大切なものは？「愛犬のク
です。8年前に我が家に来て
来て以来、いつもみんなを癒や
してくれています」



町民 ギャラリー

冬芽俳句会

老ひてなほ師走の予定ありにけり
冬日和背負ひ他愛のない話
立冬やパセリの青のおとろへず
頬はさむ手の冷たさや孫の笑顔

渡部 淑子 (四町内)
鈴木 智子 (さゆりが丘)
喜多 光子 (九町内)
岩原 紀子 (五町内)

聞いて！ わたしの夢

ここでは西会津中学校の生徒の皆さんに、自分が思い描く夢や目標を話してもらっています。

今月は生徒会の副会長を務める2年・上田康太郎さんです。



わたしの夢——

「将来は、警察官か総務省などの国家公務員になりたいと思っています。住民の安全を守ることや、みんなの暮らしをより快適にする仕事に就くことを通して、困っている人の力になりたいと考えているからです。今、地域の人に支えてもらっている恩返しができたらと思っています」

努力していること——

「毎日の予習復習は、基本の1日1ページより多めに取り組むように心掛けています。人の役に立つため、もっともっと勉強をして知識を広げられればと思っています」

未来の自分に一言——

「社会に役立っていますか。『雨ニモマケズ』のような人に少しずつ近づいていってください」

まちの人口 ～11月1日現在～ (前月比)

人口	6,955人	(-21人)
男	3,342人	(-13人)
女	3,613人	(-8人)
世帯	2,744	(-2)

戸籍の窓口 ～10月受付分～ 〈敬称略〉

お誕生おめでとう

上野 碧斗くん 康史・友紀 井谷

お悔やみ申し上げます

石川 榮藏 (89)	竜 則	祖父	3町内
平野 ミヤ子 (76)	孝 一	母	3町内
鈴木 マサイ (89)	茂 政	母	森野
築田 泰子 (95)	賢 助	母	松尾
斎藤 文三 (66)	齋藤敬一	弟	尾登
齋藤 久次 (75)	源 二	父	尾登
渡部 美枝子 (103)	芳 子	母	上小島
石川 伸 (62)	キヨイ	夫	白坂
小原 良平 (79)	勝 弘	父	宝川
山口 政博 (93)	政 信	父	原
矢部 シノブ (84)	文 雄	母	松峯
佐藤 重勝 (77)	重 弘	父	極入

交通教育専門員 紹介

町では、交通安全教育活動、広報活動などを行う交通教育専門員に新澤さんを再任しました。

任期は平成27年12月1日から平成30年11月30日までの3年間です。



新澤 光男 さん(8町内)

交通事故は、いつ起きるか分かりません。町民の皆さん、そして町の役に立てよう、交通安全活動に努めていきたいと思ひます。

人権擁護委員 紹介

任期満了に伴い、新たに長谷川さん(再任)、嶋田さんが人権擁護委員に委嘱されました。委員の任期は平成27年10月1日から平成30年9月30日までの3年間です。

人権擁護委員は、市町村長の推薦で法務大臣より委嘱され、町民の皆さんの相談に応じながら、基本的人権の侵害などの被害を調査し、被害者の救済を図ります。

相談は無料で、秘密は堅く守られます。お気軽にご相談ください。



長谷川孝志 さん
(下小屋)



嶋田 純子 さん
(下野尻)

消防ポンプを新たに配備

10月29日、町では操作性に優れた最新鋭の消防小型動力ポンプを町消防団に引き渡しました。このポンプは、第2分団第4部牛山班と黒沢班に1台ずつ配備されます。[写真=伊藤町長から消防ポンプの筒先を受け取る江川新壽消防団長]



以下は広告です。内容については、広告主へお問い合わせください。

有料広告を募集しています

紙面に掲載する有料広告を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

- ◆大きさ 1枠当たり縦4.0cm×横8.5cm
- ◆掲載料 1枠当たり5,000円/月

【問い合わせ先】

企画情報課・情報政策係 ☎45-4536

健康がいちばん

2015 in にしあいづ から

こゆりちゃん トピックス



整ってきた2012年2月ごろ、おなかを針で刺されるような痛みが現れました。3月に医師である兄に相談した

「前向きになれた」という言葉をもらい、やっぱり私にはこれだと感じました。それから毎月開催しています。また、次代を担う若者にも元

気がなつてほしいと思います、高校生との富士登山を企画しました。福島からは少し遠いですが、日本一の山に登ることで自信をつけてもらいたいという思いがありました。ある程度その準備が

2



登山家
たべいじゅんこ
田部井 淳子 さん

福島県三春町生まれ。女性として初めて世界最高峰エベレスト(8,848m)および7大陸最高峰への登頂に成功。2度のがんを克服し、現在も大好きな登山を楽しみながら世界中に夢と希望を届けている。

ことであるがん性腹膜炎が発覚し、当初は大変深刻だといわれました。ここから抗がん剤治療が始まったのですが、「家で寝ているよりは」と相変わらず山に行っていました。治療は順調に進み、7月には確認のための手術をしました。富士登山の日程はこのときすでに決まっていたので、退院の翌日、私は高校生たちと富士山にいました。今は、年間150日くらい山に登っています。でも、そのほかの日常生活も楽しみたいと思います。レッスンにも励んでいます。コンサートを開いたりするのは、山とはまた別の楽しみがあります。私は、平均寿命までは生きられるだろうと勝手に予測しています。そして、これから先の時間はこれまでよりさらに密度濃く生きたいと考えています。最期のときに「やるだけやった」と言えるような生き方をしたいと思っています。

こゆりちゃん体操



健(検)診体験



健(検)診ウルトラクイズ



米粉ケーキの振る舞い



今年で4回目の開催となる町民参加型健康まつり健康がいちばんは、一昨年の「食」、昨年の「運動」に引き続き、「健(検)診」をテーマに開催しました。会場を訪れた皆さんに200食限定でサツマイモの米粉ケーキを振る舞ったほか、西会津中学校での田部井淳子さんの講演後には、会場を西会津小学校に移し、こゆりちゃん体操や健(検)診ウルトラクイズに加え、血圧測定や血管年齢測定などの健(検)診体験を行い、多くの参加者でにぎわいました。

今月の表紙

11月10日、ちびっこ防火パレードが行われ、尾野本保育所の児童の皆さんが拍子木を打ち鳴らしながら近隣の皆さんに火災予防を呼び掛けました。法被姿で一生懸命頑張る児童の皆さんに、沿道から声援が飛んでいました。

